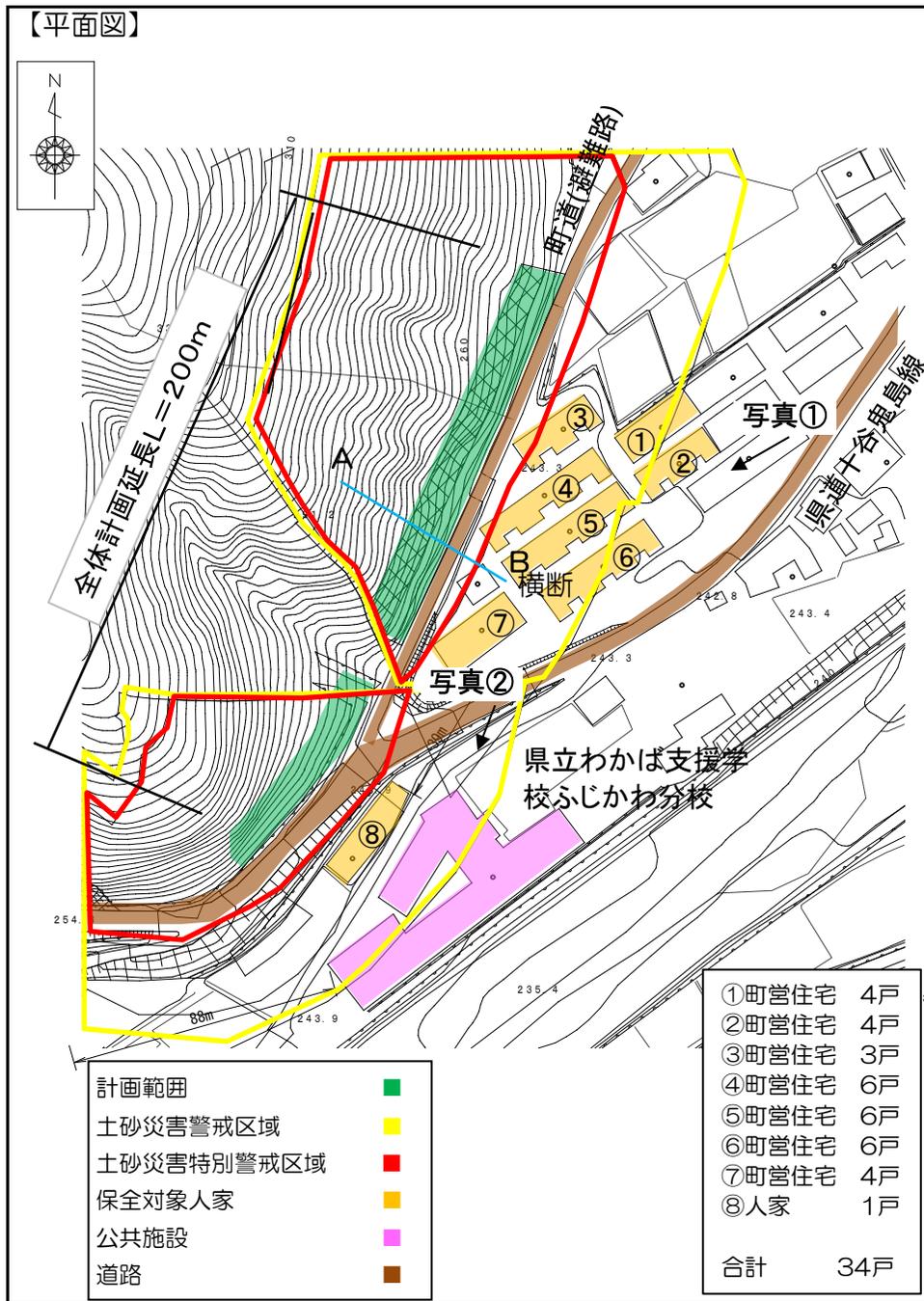


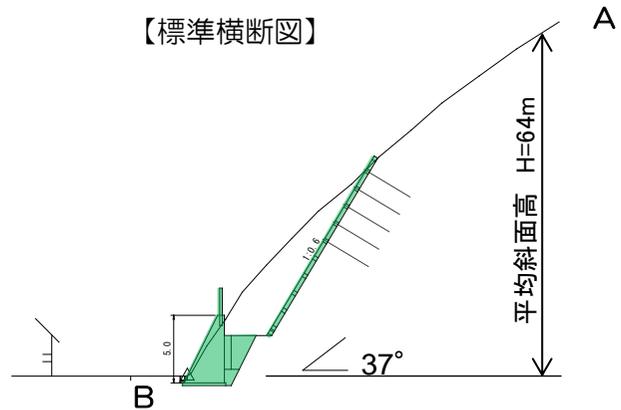
1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]	事業箇所	南巨摩郡富士川町鬼島	地区名	鬼島の2 (オニジマノニ)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
①課題・背景 鬼島の2地区は、山梨県南部の富士川町に位置する急傾斜地であり、平成19年3月19日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は、平均斜面高64m、平均勾配37度の急傾斜地で、保全対象には、人家1戸のほか町営団地33戸、要配慮者利用施設 (県立わかば支援学校ふじかわ分校)、県道十谷鬼島線、町道 (避難路) があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全対象：人家1戸、町営住宅33戸、県道L=110m、町道L=140m ・重要公共施設の有無：有 町地域防災計画で位置づけられた避難路 (町道) 県立わかば支援学校ふじかわ分校 (要配慮者利用施設) 合計34戸>5戸以上※ ※評価基準値 □副次目標 - □副次効果 -				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
(2) 整備内容 ①整備内容 重力式擁壁工 L=200m 法面保護工 A=3,000m ² ②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和12年度 ④総事業費 約300百万円 (国費:142.5百万円(4.75/10)、県費:142.5百万円(4.75/10)、その他:15百万円(0.5/10))				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>300 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R12</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>252 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1155 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>252 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">921 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">218 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">4.6</td> </tr> </table> 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。				総事業費	300 百万円	工期	R3~R12	基準年	R2	経済効率性	費用	252 百万円	便益	1155 百万円		建設費	252 百万円	一般資産被害	921 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	16 百万円				人的被害	218 百万円					その他※	百万円			B/C			4.6	
総事業費	300 百万円	工期	R3~R12	基準年	R2																																									
経済効率性	費用	252 百万円	便益	1155 百万円																																										
	建設費	252 百万円	一般資産被害	921 百万円																																										
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	16 百万円																																										
			人的被害	218 百万円																																										
			その他※	百万円																																										
	B/C			4.6																																										
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和3年度 地形測量、地質調査、詳細設計 20 百万円 令和4年度 用地測量・調査、用地取得・補償 30 百万円 令和5年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和6年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和7年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和8年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和9年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和10年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和11年度 重力式擁壁工・法面保護工 30 百万円 令和12年度 重力式擁壁工・法面保護工 40 百万円				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。 ⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。 ⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用する。 ⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、町から受益者負担金の同意は得られている。																																										
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑧既整備内容・期間・事業費 未整備				総合評価 [貢献度ランク：a]																																										
(4) 事業位置図等																																														

2. 添付資料シート



【標準横断面図】



【写真方向】

①



【写真方向】

②

要配慮者利用施設
県立わかば支援学校
ふじかわ分校

